

2021.3.18 (木)
第26回例会
(通算 3620 回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博
副会長 土橋 賢一
幹事 荒井 剛
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2020-2021 年度
国際ロータリーテーマ



ロータリーは種々の業を擁す
2020-2021 年度
RI 会長 ホルガー・クナーク
第 2500 地区ガバナー
松田 英郎 (富良野 RC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	会員卓話「今年の展望と輝ける釧路きっかけ作り」(担当：プログラム委員会)
次週例会	嵯峨記念育英会奨学生 卒業報告会 (担当：嵯峨記念育英会委員会)

- ロータリーソング：「我等の生業」 ■ソングリーダー：片山 昭生君
- 会員数 97 名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

土橋 賢一副会長

皆さん、こんにちは。国の 1 都 3 県の緊急事態宣言が 3 月 21 日に解除されるようですが、ここに来て釧路地方では連日落ち着かないようで、これから人の往来が増えたならば、と思うとまだまだ心配事が尽きません。早く終息してほしいと願うばかりです。

さて昨日、舟木会長の所へ行ってまいりました。本人、店のソファに座っておりました。相変わらず食欲がなく、この 1 カ月で 8 kg ほど体重が減ったようです。やはり抗がん剤のせいでしょうか、調子がいい時と悪い時があって、それでもなるべく調子の良い時は店に出たり、身体を軽く動かしたりして気を紛らわせているようです。とにかく午後から長時間寝ているようで、声もかすれて聞き取りづらく大変老け込んだように見えました。あくまで私を感じたことですが、もう少し時間がかかると思います。

何よりも無理はさせられないなと思いました。皆さんにはなかなか良い報告ができず、心苦しいところです。本日は木下君の会員卓話です。コロナ・コロナで、やりたいことが自由にできない昨今ですから、ぜひ希望の持てるいい話をお願いしたいと思います。以上です。

幹事報告 荒井 剛幹事

1 点だけ報告させていただきます。3 月上旬に行われました理事会の議事録をホワイトボードに掲載しておりますのでご確認のほどよろしくお願い申し上げます。
以上です。

■本日のプログラム■

「今年の展望と輝ける釧路きっかけ作り」

木下 正明君

皆さん、こんにちは。貴重なお時間を拝借いたしまして、お話をさせていただくことを本
当にありがたく思っております。

『今年の展望と輝ける釧路のきっかけ作り』ということですが、展望というのは
「占い」です。

私、神主をしておりまして、必ず年末に当社で占いをしまして、その結果をお正月の松の内
にお参りが大体 800 件ほどありますが、伺った時に「今年はこの運勢なので、こういう
ことに気を付けて 1 年送ったらいいですよ」とお話をさせていただいております。

令和 3 年、今年の運勢ですが、いろんな占いの本を参考にしながら、鳥取神社門外不出の
特別な方法で占いをしています。この「占いの方法」は宮司の私しか知りません。当社は大
國主神(おおくにぬしのかみ)の御分霊を出雲大社からいただき、御神体に遷してお祀りして
いるのですが、実はご神体を私でさえまだ見たことはありません。万が一盗まれた時にそれ
が当社のご神体か分からないと困るので、そろそろきちんと見ておかなければならないと
思っております。

令和 3 年の運勢ですが、結論から言いますと「新しいものにチャレンジすると非常に良い
年」です。コロナの感染拡大もあり、いろいろなことで少し暗い時代ですが、逆に考える時
間も増えているかと思えます。新しいことにチャレンジすると実を結んでいく年です。ただ、
少し慎重になりながらどんどん前に進むと成功する年廻りなので、それを念頭に置いてい
ただくとそれぞれの御社業や皆さん個人の未来も、すごく開けて行くと思っております。

令和 2 年は簡単に言うと世の中がガラッと変わってしまう年廻りでした。コロナとの因
果関係はないかもしれませんが、ガラッと考え方が変わってしまう形で令和 2 年は経過し
たと思っております。

令和 3 年は『辛丑(かのと・うし)』、辛い(からい)という字に丑(うし)です。紐(ひ
も)という字の右側になります。辛いという字は「しん」と読みますので、日本は発音が一
番大事なので、「しん」という発音は新に通じ「新しく何かものが芽生える」そういう年で
す。また、西暦の最後一桁が「1」の年が「辛(かのと)」になります。

『辛』という字は地中で貯めたエネルギーを周りからの抵抗を押しつけて、上にボンッと
発芽するようなイメージを考えていただければと思います。辛い、むごい、厳しい、ひどい、
などの漢字としての読み方、辛苦、辛酸をなめる、という熟語もあり、そういった意味もあ
ります。

後漢の白虎通義(びゃっこつうぎ)という、紀元後 79 年、今から 2000 年ぐらい前に書か
れた書物で「辛の年には、新しいことを更新しないとひどい目に遭う年である」と書いてあ

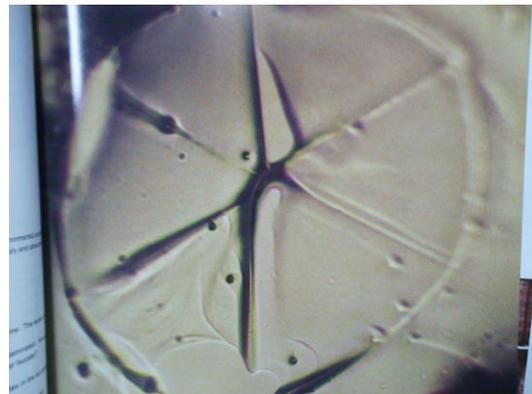
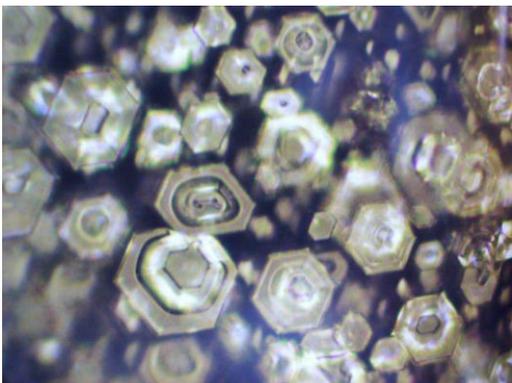
ります。思い起こしていただくと2011年、これも辛の年で、東日本大震災が起きました。2001年、アメリカの同時多発テロもこの「1」の時です。ですから、物事がガラッと変わったりする年廻りなので、これをチャンスにすることも必要かなと思います。

丑という字は「乳児が外に手を伸ばす」という象形文字からきていますので、始めるとか、結ぶとか、つかむ、などの意味になりますので「今年1年は新しいことをやって成果をつかむ」ことを皆さんで心がけていただければと思います。「紐という字の右側」というのをよく解説などでお聞きになったかと思います。

例会でお話したことあるかと思いますが、どうして、ありがたい時に「ありがとう」と言うのかわかりますか。これは当然、最初に漢字があるわけではないのです。

『ありがとう』という言葉ができたときのことを想像してください。「ありがとう」と言ったら今の日本語でいう「ありがたい気持ち」が伝わるのが、「あ・り・が・と・う」という発音なのです。だから、それで「ありがとう」という言葉ができています。「有り難い」などと案字で書きますが、字は後からあてられたものなので、「ありがとう」という言葉が言霊として、相手に「ありがたさ」が伝わる羅列が「ありがとう」なのです。そういったことで、相手に気持ちが伝わったり、意識が伝わったりします。

これは水の結晶です。ショパンの音楽を聴かせると水の結晶がこのようにきれいな宝石みたいな形になります。



「ありがとう」と言うとき一番きれいな結晶ができますし、ひどい言葉を言うと崩れた結晶ができます。普通の水に、何も言葉をかけずに結晶を作ると上のように『水』という字みたいな結晶になるのです。「水」という字もたぶん結晶を見た人が字を作ったのではないかな、水の結晶が六角形ですので、水という漢字はこれで作られたとおもいます。

必ず「物事」とか「事」「状況」とかには必ず意味があると言われております。神社はそういったことを考えて運営をしたり、人にお伝えさせていただいたりしています。

釧路はいま少し元気がありません。漁業・水産業や製紙業、炭鉱業にも少し陰りが見えた中でインバウンドを含む観光が盛り上がってきて、酪農が調子よく来ていた矢先の新型コロナウイルスの感染拡大で観光業、飲食業に大きなダメージが出ています。本当に苦勞されている方々、仲間がいらっしゃるの、何とか乗り切っていただいて収まった後に飛躍していただきたいと思います。

人口が相変わらず減っています。苫小牧や帯広にも抜かれたとか、日本製紙が8月に撤退するという話を聞くと、釧路はどうなっちゃうのだろうなという思いがあります。

これは何とかしなくてはいけない。さっき言いましたけれども今年はチャレンジする年廻りになります。チャレンジする年にひとりひとりが雇用を1人増やせば、このメンバー全員が増やせば50人、100人雇用が増えます。そうすると若い方が外に出なくても済むのかなとか、みんながチャレンジしていただきたい年ではないかと思います。本当に何とかしたいといけないなと思います。

では、釧路はそんなに駄目な所なのかな？ということで少し思い出して、まだ入会されていない方もいる私が会長を務めさせていただいた2017年6月1日の例会で斎藤征治さんにご講演をされました。この方は釧路湖陵高校を出られて北大に行って、カネボウにお勤めで、最後は上海の工場長を務められた方です。この方が2012年に同窓会の集まりがあって、そこで幣舞東家の平光二さんから「斎藤君、釧路が大変なことになっているぞ。すごく元気がなく、いろんなことが駄目になってきているぞ。」という話を聞いて愕然とされたそうです。

この方は定年されてからアルバイトをして2カ月に一度、必ず釧路に3日から4日泊りがけで来られて、釧路を良くするためにはどうしたら良いかを色々な方々にお話聞いて回って、自分で「こうしたらいい」という意見を構築されていった方です。

たまたま私と知り合う機会があり斎藤さんの夢を私に実現させていただきたいと思いました。私は東京から来ていて、この素晴らしい釧路に住まわせていただいて、恩返しをしたいなといつも思っています。昔からボランティアをやっているのですが、斎藤さんは化粧品会社で企画をされていたので、どんどんアイデアが浮かぶのです。ですから、斎藤さんの夢を実現したいと思いました。

斎藤さんがおっしゃるには、「ここ釧路地域は第一次産業の適地です」。酪農・水産まだまだ捨てたものではありません。製紙業は撤退してしまいましたが、石炭は地元の発電所に供給されています。そして、北米や欧州に日本で一番近いのです。釧路港は不凍港、凍らない港です。夏に北極圏の氷が解けた時に直接、北極圏を通過してヨーロッパに行くことができます。そうすると航路の長さが3分の2になりますので、ものすごく節約ができる。あと観光資源がたくさんあります。本当に摩周湖や阿寒湖とか、オンネトーや知床もある。ちょっと行けば厚岸もある。観光資源が山のようにあります。本州の足利市では、「藤の木が1本だけで150万人が観光に来る所がある」と。外から来られた方は特に分かります。釧路にはいい所が山のようにあって、逆に紹介しづらいぐらいだと思います。

その例会の時に斎藤さんがメインで挙げられていたのは、『林業』なのです。



木の種類が違うので一概に比較はできないのですが、ドイツはGDPが 380 兆円あります。日本は 550 兆円くらいあります。ドイツの森林面積は 1,108 万ヘクタールです。ドイツではGDPの5%が林業の生産額で、19 兆円の産業になっています。ドイツでの産業、一番は当然、自動車産業で4番目が林業で19兆円稼いでいる。では、日本はどうか。森林面積は 2,512 万ヘクタール。日本はドイツの 2.3 倍の森林を持っています。すると先ほどドイツの生産 76 兆円があるので、日本もその倍の 38 兆円くらい林業の生産があってもいいことになりかと思えます。ただ、急峻な斜面が多いのでなかなか難しいのです。

では、北海道の森林面積 554 万ヘクタールです。これ、ドイツの半分くらいあるのです。ドイツの半分の 9.5 兆円は無理だとしても 6 兆円くらいの生産ができるのではないかと思います。ひがし北海道の中で釧路地域周辺の森林面積が 69 万ヘクタールくらいありますから、7,500 億円の生産額の可能性がある。林業に関わっている方が少ないので選挙の関係もあり、きっと林業に国があまりお金をかけていないと思います。今、日本全体で多分、2,500 億円から 3,000 億円の生産しかないのです。ただ、ひがし北海道だけでも 7,500 億円、北海道全部では 6 兆円の産業になる可能性があります。そういうお話を斎藤さんがされていました。

そして畜産と酪農業では、世界一美味しい牛乳です。ここは海風に塩分（ミネラル分）が乗ってきて、草の上にまぶされて柔らかい牧草になるのです。それを牛が放牧で食べていますから、牛さんはストレスなく柔らかくてミネラルがたくさん入った草を食べて牛乳を生産しますので、根釧の牛乳は一番甘みがあって美味しい。乳脂肪分も高く 4.0 が普通で、浜中や標茶他は 4.0 を超えている農家がほとんどです。あと、弟子屈牛も。これは子牛の時だけ育てて、あとは松阪や但馬に出しているのです。子供の頃の弟子屈牛を食べれば、ものすごく美味しいということになります。

漁業も少しずつ元気がなくなっているとはいえ、日本中で食べる昆布のうち 80%は釧路地方で採れています。サンマも減っていますが、サンマ・サケ・イワシ。イワシは今 25 万トンくらい揚がっています。タラ、タラコ、スケトウダラは 4~5 万トン。シシヤモは漁が少ないですけど、本物のシシヤモはこの近隣でしか獲れません。日本で 8 本しかシシヤモが獲れる川がなくて、うち 5 本が釧路地域です。浦幌町に行った時には「浦幌町で獲れたシシヤモは全部、むかわ町に送られる」ということで、本当は「釧路シシヤモ」で売ればいいのかと思います。あと、牡蠣です。まとまった収穫量で、新鮮です。本当に釧路は素晴らしい所で、いろんな物があります。他にも「福司」があり、年々美味しくなって全国で金賞

をしょっちゅう取っています。「北の勝」もファンが多いです。「厚岸ウイスキー」は、昨年度、サンフランシスコ・ワールド・スピリッツ・コンペティションで最優秀金賞を受賞しています。あと、パプリカも採れますし、冬いちご「夕緋（ゆうひ）」と、「946 BANANA」という皮ごと食べられるバナナ、これ、1本1,000円で売っていますが、有望な物もたくさん出ています。



その他にも山のようにあると思います。

どうしたら、これらをブランドにできるのか、生かせるのかなと思います。

まず、牛乳です。牛乳は混ぜられちゃうので、向こうに行くほとんど「根室・釧路産」ではなく「北海道の牛乳」になってしまいます。皆さん、『こんせん72牛乳』という牛乳を知っていますか。実は『こんせん72牛乳』が釧路地域で一番たくさん出荷されていて1日4万本が出荷されているのです。どこに行くかという、「パルシステム」という生協の高級なブランドになって、首都圏に直接送っています。地元では飲めません。

緑の「根釧牛乳」を見たことがありますよね。これ、なかなか美味しくていい牛乳なのだけど、「こんせん72」や「根釧牛乳」と言われても「どこの、何だろう」になってしまいます。もっと分かりやすい名前がいいのでは。漢字で根釧牛乳も「根釧ってどこなんでしょう」、たぶん東京の人に聞いてもほとんどわからない。地図が書いているので、それで少しわかるかと思いますが、そんな状況です。



食べる昆布も80%は釧路産なのですが、「棹前（さおまえ）昆布」と「なが昆布」が主に食べる昆布なのですが、「なが昆布」と聞いても釧路とは印象が結びつかないですし、「さおまえ」は釧路地方だけで採れているなんて誰も分からない。

イワシも「世界一脂乗りが良い」と日本中の漁師さんがおっしゃるのですが、ほとんどが「ミール」になっちゃう。そうすると、キロ30円を切っちゃって25円とか。なので、非常にもったいないです。人間が食べるイワシはキロ160円や170円で取引されているようです。

明太子。タラコはこっちで獲れているのに、明太子は九州ブランドになって高く売られていて非常にもったいない。

あとは、観光産業のブランド化です。『ひがし北海道』という名前で観光業はずっと前からブランド化をしています。でも、『ひがし北海道』という言葉はまだまだ広がっていないと思います。銀座で昨年と一昨年にアンケートを取りました。「釧路、厚岸、白糠、摩周湖、阿寒湖、を知っていますか」というと、だいたい知っている方です。白糠は少し落ちたかと思いますが、摩周湖、阿寒湖はみんなが知っています。「では、どこにあるのですか？」「北海道です」、「じゃあ、北海道のどのあたりですか？」「わかりません」、ということです。この5つがすごく近くにあって、車で1時間以内に行けることは東京の人には全くわかりません。なので、釧路でサンマが獲れたとあって、サンマを食べただけで釧路に来るかという少し無理なので、「摩周湖や阿寒湖を見ながら釧路でサンマ食べて、厚岸でカキとウイスキーで、白糠ではタコやカニを食べたらどうですか」と言ったら来てくれるかなと思います。

一番問題なのはこの地域を呼ぶのにふさわしい価値がある名前がないのです。適切な呼び名がなくて、私たちもどう呼んだらいいかを考えました。ひらかなで『くしろ』とか、『こんせん』や『せんこん』とか。東京の方には、根釧と釧根の両方あるのはまず理解できません。何で違うかという、人口では釧路が多いので釧根なのですが、牛乳の生産量は根室が多いので根釧牛乳なのですね。こうなると全くわかりません。あるあるになってしまいます。

ここが『水のカムイ観光圏』だと知っている方はいらっしゃいますか。たぶん、何人かいるけど、ほとんどの方は知らないですね。これは国の政策で、釧路から阿寒湖や摩周湖の一带は水のカムイ観光圏ということになっている。観光立国ショーケース、日本で3市、長崎・金沢・釧路が選ばれているのは知っている方いらっしゃいますか。少し多いですね。やはり新しい名前はなかなか定着しないと思うのです。

あと、釧路・根室の商工会議所が「釧路・根室を『シマフクロ圏』と呼ぼう」と運動されました。これを道外で言っても浸透するまでに何十年もかかってしまうと思います。

ではどうしたらいいのかという時に、前から呼んでいるのですが『ひがし北海道』、英語表記では『EastHokkaido』と呼ぼうと考えました。数年前に蝦名市長が「(釧路空港を) ひがし北海道空港にしたい」と言って色々なところから批判を受けました。でも、そう市長が言うのだから『ひがし北海道』(EastHokkaido) にしようと協議会を設立しました。当会の小船井会員が会長を務めております。

「北海道」は世界的なブランドになっています。それに「北海道の東側ですよ」とすることで皆さんに理解し記憶していただける度合いが増えると思います。「ひがし北海道の釧路ですよ」「ひがし北海道の阿寒です」「ひがし北海道の厚岸です」と言うのと伝わり易いとおもいます。ただ文字数が「道東」の2文字から6文字に増えるので新聞の紙面は難しいのですが、そうしようと考えました。

皆さんにお願いがございます。道東をなるべく「ひがし北海道」と言い換えて喋っていたきたいと思います。会社の名前とか団体を作る時には「ひがし北海道」、漢字で東北海道にしているところは「東」をひらかなに変えていただくとか。これをやっていただいた例が結構あります。「ひがし北海道クレインズ」さんには当初の漢字の「東」を「ひがし」にさせていただきました。釧路市民球場が「ウインドヒルひがし北海道球場」になります。今度、三ツ輪商会在 MOO の中にアウトドアショップを作るのですが、EAST HOKKAIDO ACTIVITY BASE」という名前にして下さるそうです。あと、釧路女相撲大会も「ひがし北海道釧路女相撲大会」に、などなど。例えば、「鳥取神社」は鳥取県の神社だと思われまから、小さく「ひがし北海道」、大きく「鳥取神社」というような形にして使っていたきたいです。

ロゴマークやシールを今日お配りしていますが、ディズニーランド、ハウステンボス、池袋のバンダイナムコのナンジャタウン、札幌のラーメン共和国、をデザインした方に作っていただきましたので、ぜひ名刺やパソコン、封筒などに貼っていただきたいと思います。クレインズさんは背中の上方にタダで付けていただきました。本当にありがたいと思っております。



こうやってシールを貼って、お土産を渡していただきたいと思います。厚岸ウイスキーさんも貼っていただけるようになっています。こういうのぼり旗をたくさん作っていますから、「自分の会社に飾ってもいいよ」という方はぜひ持って行って飾っていただければと思います。

「ひがし北海道ブランド化推進協議会」の Facebook ページを見ると、いろんな情報や観光地がアップされているので、タダですのでフォローしていただくとありがたいと思っています。

協議会の事業としては、東京の歌舞伎座で今年度1年間、合計で半年弱ぐらいPRや物産展を行いました。写真にある『クシロバコ』という釧路の物産の詰め合わせを吉田新聞店の吉田勝幸専務が企画し販売してくださいました。それを買っていただいた方は Zoom で解説を受けながら地元の生産者の解説と共に一緒にご食材を食べる企画も行いました。当日、100件以上の方々が参加されました。協議会としては売るのがメインではなくて、PRだけなのですけれども、コラボをした形での活動をしています。地元のお土産屋さんの丹薬商店も現地に行ってPRされました。



つい最近終わったのですが、歌舞伎座ですから十八番（おはこ）が一番得意な演目で、海老蔵さんの成田屋が商標を持っています。その歌舞伎座でPRを行うので『ひがし北海道十八番（おはこ）店』を出店しました。「釧路の18個の物産の中でどれが一番好きか?」を

投票してもらう企画を1カ月行いました。当たった方にはサケ関係の詰め合わせが送られて来るのですが、500人の方が投票してくださいました。その結果を協議会で精査して、いろんなところにお知らせしフィードバックしたいと思っております。

その際に東京に戻られた通勤族の方が四角い箱が今人気の厚岸ウイスキーですが、それを買ってくださり本当にありがたいなと思っております。この取り組みは徐々に広がっていくと思っております。

説明しますと歌舞伎座の地下2階に『木挽町広場』という場所があり、お土産屋さんなどがらっと並んでいます。その一番目立つ2カ所を使って『ひがし北海道』のPRをさせていただきました。こんな感じで「どれが食べたいですか？」を投票していました。最初はサケがリードしていたのでびっくりしましたが、最後はカニに落ち着いたので出来レースではないのですが「やっぱり」という感じでした。写真のように、こんな感じで『ひがし北海道十八番（おはこ）店』を行っています。歌舞伎座という提灯も見えるかと思えます。



今後、令和3年5月からも半年間、歌舞伎座で大きな物産展をやろうと思っております。

そういった形でブランド化を少しずつ、まずは地元の人がこの地域を『ひがし北海道』と呼ぶ、外にどんどん発信していくのが大事かと思えます。

このようなブランディングを地元でアイデア出して行っていくのは難しいので、外からの目を入れてブランディングのカリスマ村尾隆介氏にお願いをして、ひがし北海道未来予想図を作成しました。われわれはブランディングする時間がないので、「タイムマシンで2030年に行ったら『報告書』が落ちていて、それを誰かが持ち帰ったらこんなこと」が書いてあったという設定です。『ひがし北海道』の今後のマニフェストです。こうなりたいではなくこうなってしまったという精神で進めていきます。

村尾隆介さんは全国のブランディングをやっていて、今は、台湾政府や鳥取県などの行政を中心に300社程度と契約して、ブランディングを行っています。

サバ缶で『Cava? (サヴァ)? 元気という意味』というのを知っていますか？これは、村尾さんが被災地支援で行ったブランディングで、900万個売れています。鳥取県の『すなば珈琲 (SUNABA COFFEE)』を知っていますか？平井知事が『スタバはなくてもスナバ (砂場) はある』と言ったというものです。超有名なものではないかもしれませんがブランドとなっております。



その鳥取の『すなば珈琲』はいま8店あるのです。一昨年初めてできた『スターバックス (スタバ)』が2店か3店ぐらいで、『すなば珈琲』の方が人気あると言われていて、「目指せ、シアトル」と、スタバを凌駕するぞという企画でやられています。「こうなってしまった」ということをどんどんやっていきましょうという良い見本です。

だから、いろいろな物産も「デザイン性がないと手に取ってもらえない」と、ニシンの缶詰もこんな風にデザインして、角に「ひがし北海道」のブランドマークが付いています。ひらがなの『く』の字の逆で、画期的な包装デザインの仕組みで統一したデザインは出来ていて、そこに商品名だけを付ければデザインが完成する形です。これはチョコレートのデザインです。そうすると、皆さんがそれぞれデザインをしてもらう必要はなくなります。そういうこともタッグを組んでやっていこうということです。



パッケージも統一して、売り場ですごく目立つようにしちゃおう、ワイン他商品パッケージに「ひがし北海道」の商品マークを付けて、全部統一しちゃおう。売り場もいろんなものに全部同じマークつけて、「ひがし北海道」の物はひとくくりにして売っちゃおう。デザインの中に地域ならではの白黒の写真(キツネや風景)を付けてPRしながら売っちゃおう。これが全部ひがし北海道の物産ですよみたいなことをどんどんやっていこうと。こういう

のはブランディングをやられている方じゃないと難しいかなと思います。



あと、お菓子のパッケージもこのように作ってPRしながら統一感を持ったブランディングをしようと提案されました。

これは、当協議会のマニフェスト。何とか実現させていただき、OEMで供給させていただく形にしたいです。イベントなどでもバスやその他を例えばエプロンも統一のマークにしてやっていきたいです。

『ロングトレイル』。向こうの方は100kmから200kmを何日もかけて歩くような遊びが流行っていますので、ヨーロッパから誘致をしたり、アジアの方々には『ミルクマラソン』とか、『食べ物をテーマにしたイースト・ホッカイドウ・マラソン』をやりたい、釧路湿原マラソンをぜひ、『ひがし北海道マラソン』にさせていただきたいと思っています。



手前味噌ですみません、当神社で女相撲大会やっています。これに外国人の方に出ていただきたいです。海外から来るのではなくて日本に住んでいる外国の女性に女相撲に出ただけのもいいのじゃないかなとおもいます。この地域にはプロチームではひがし北海道クレインズがあります。プロサッカーチームやプロバスケットチームの下部組織も作って、若い人を引き留めて盛り上がるようにできないかなと思います。

あとは『食い倒れてイーストホッカイドウ』ですね。今は『クール釧路』というのが釧路川岸に出来ましたけれども、『Love&Eat EastHkkaido (ラブイートイーストホッカイドウ)』と、韻を踏むような形でモニュメントを作成して、みていただきたいと思います。

今はインターネットで授業ができることがわかりましたから、釧路に学校を作ってネットのやり取りもできます。子どもたちに特別天然記念物タンチョウやマリモの講義ができたりもします。林業もドローンを使って生産性をあげる。そういうこと、いろんなことをみんなでアイデアを出して、見切り発進でやっつけてしまおうというのがこのマニフェストの内容です。

後ろに「こんなマークを使いましょう」ということで、一番下の左側のロゴには「可変部」と書いてあるのですが、そこに自分の会社マーク入れたり、商品の名前を入れたりして使っていただきます。協議会のマークはこの赤い太陽がある「ひがし北海道」と「EAST HOKKAIDO」のマークになります。



こういった形で、せつかく価値がある地域を価値があるように皆さんに伝えることをしないと次世代にいいバトンタッチができないと思います。

私は59歳になりますので、ここが踏ん張りどころですね！皆さんにご協力をいただいて10年後に東京と大阪の20代から30代の女性の50%に『ひがし北海道』という言葉を知っている」と言っていたのが大きな目標です。皆さん、ぜひご協力をお願いします。どこ行っても「ひがし北海道」と言っていたいただければと思います。

ご清聴ありがとうございました。よろしく願いいたします。

(点鐘)